

# 2024年サプライヤー説明会

～サステナブルな社会に向けて～

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

# サステナブルな社会と 事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、ステークホルダー（サプライヤー、投資家含む）の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

サステナブルな社会と事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

# 協和キリンの価値創造ストーリー

# 経営理念と価値観

## Our Philosophy

協和キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

## Core Values



### Innovation

情熱を持ち、楽しみながら、生活を変革しよう。全ての業務において、現状維持を良しとせずチャレンジしよう。



### Commitment to Life

この地球上で最も大切な存在のために働こう。患者さん、患者さんを介護する人、医療従事者、そしてお客様のために価値を創造しよう。



### Integrity

正しいことをしよう。一貫して誠実で倫理的であろう。公正な事業運営を通じて、より良い世の中を造ろう。



### Teamwork/Wa

ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン。多様性のあるチームで働き、お互いに尊重しよう。組織の枠を超えよう、そしてステークホルダーと連携しよう。

# Vision

## 2030年に向けたビジョン

協和キリンは、イノベーションへの情熱と多様な個性が輝くチームの力で、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして病気と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値\*の継続的な創出を実現します。

\* 病気と向き合う人々の満たされていない医療ニーズを見出し、その課題を解決するための新たな薬やサービスを創造し、提供することで、患者さんが「生活が劇的に良くなった」と感じ笑顔になること

### アンメット メディカルニーズを 満たす医薬品の提供

抗体技術の進化へ挑戦を続けることに加え、多様なモダリティを駆使し協和キリンの強みを生かした創薬により、有効な治療法のない病気の治療に取り組んでいきます。

### 患者さんを中心においた 医療ニーズへの対応

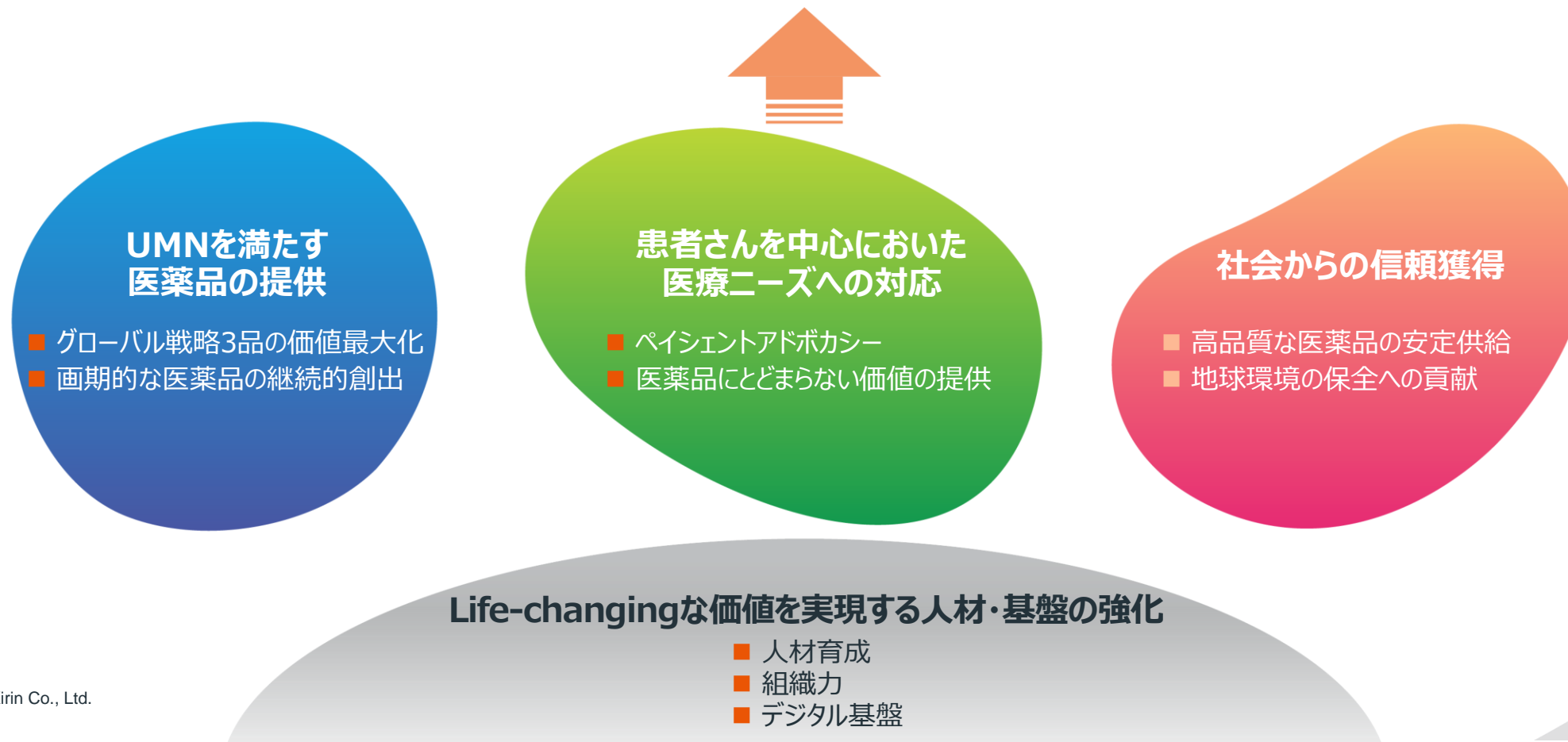
医薬品事業で培った疾患に関する知見と最先端の科学・技術の応用に努め、医薬品にとどまらない社会の医療ニーズに応えていきます。

### 社会からの信頼獲得

常に信頼され、成長が期待される企業であり続けるため、世界トップクラスの製品品質とオペレーショナルエクセレンスを追求し続けます。

# ビジョン実現のための戦略

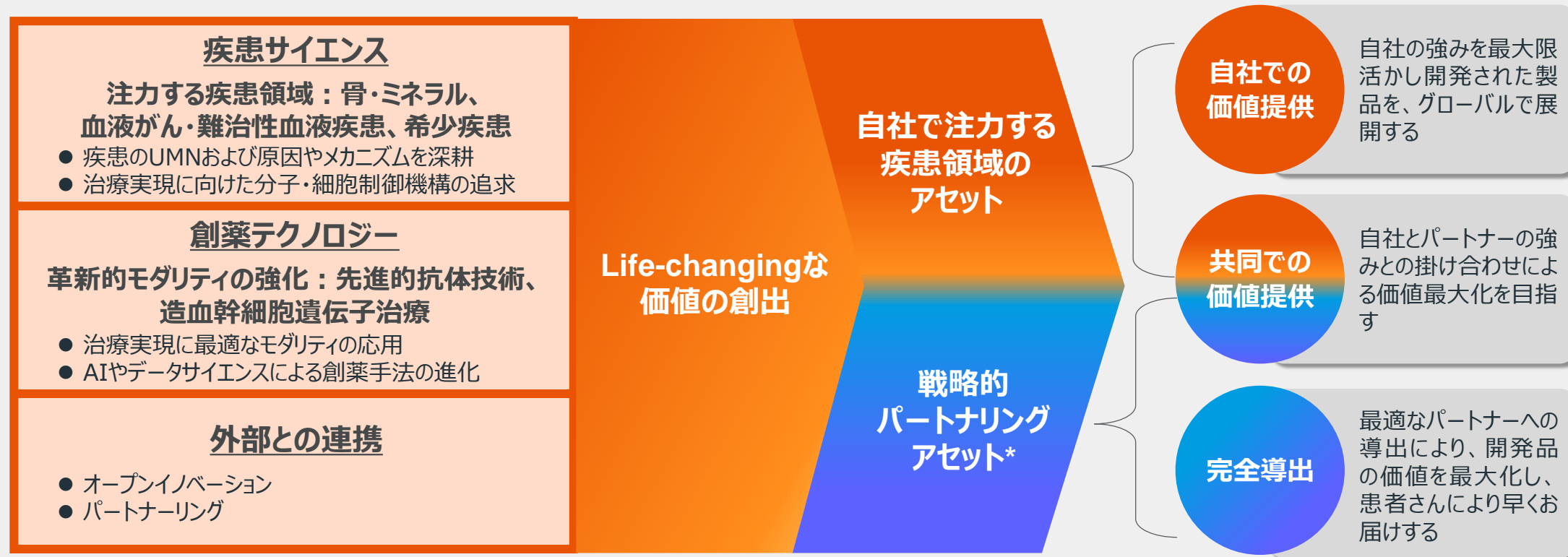
- グローバル製品の価値最大化
- グローバルでの安定供給体制確立
- 2025年以降の成長を牽引するパイプラインの確保
- 医薬品にとどまらないサービスの具体化
- グローバル事業展開にふさわしい企業文化の醸成





# Life-changingな価値を創出・提供するための戦略 - Story for Vision 2030

経営理念の下、2030年に向けたビジョンを掲げ、活動を継続しています。  
 大きな環境変化がある中、ビジョン実現をより確かなものにすべく、Story for Vision 2030を策定し、ビジョンの解像度を上げながら、戦略と課題をより有機的に結び付け、Life-changingな価値の創出に向けたCSV経営を実践していきます。

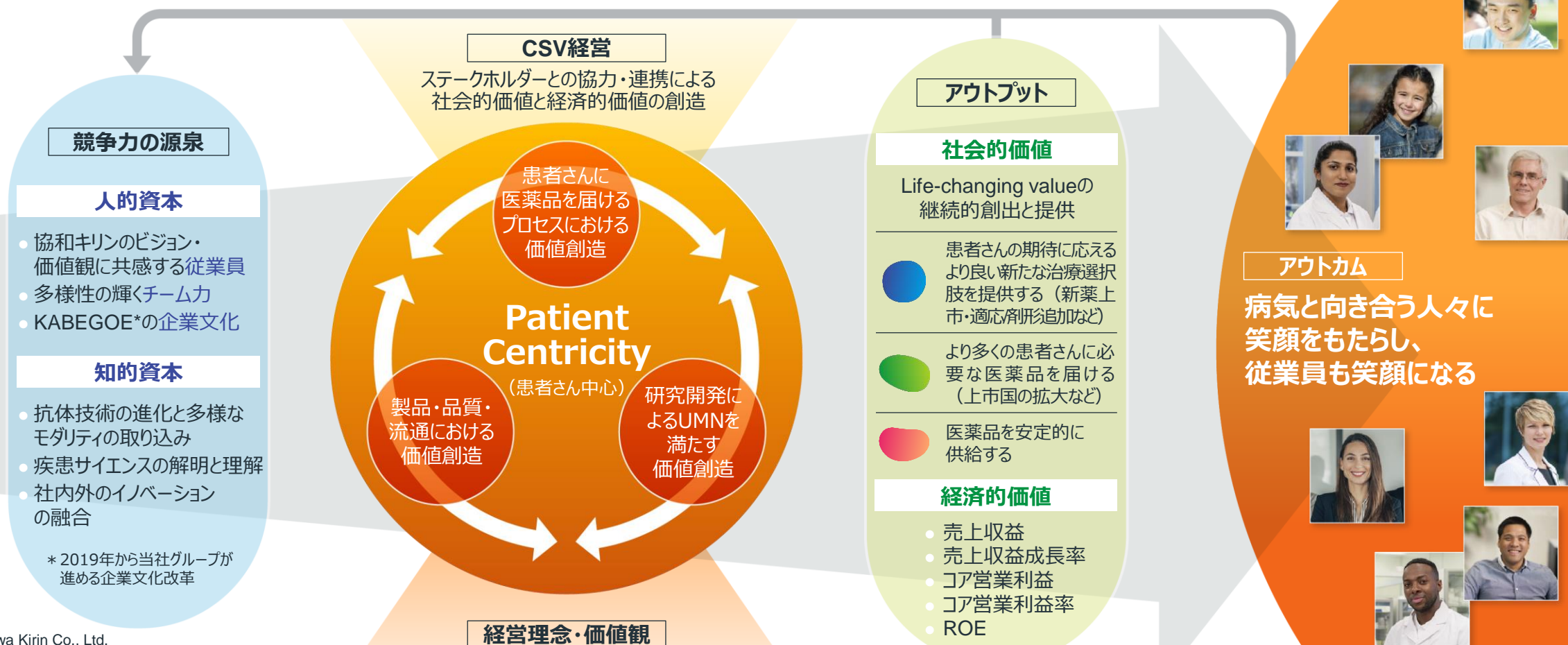


\* 注力する疾患領域以外のアセットを戦略的パートナーングアセットとし、パートナーとの連携で価値最大化を実現する



# 価値創造ストーリー

病気と向き合う人々に笑顔をもたらすため、私たちの競争力の源泉である人的資本と知的資本を活かし、すべての従業員が患者さんを中心に考え、研究開発、製品・品質・流通、医薬品をお届けするプロセスで相互に連携しさまざまなステークホルダーの皆さまとともに価値創造を行うことで、社会的価値と経済的価値を創出していきます。



サステナブルな社会と事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

# 協和キリンのサステナビリティとマテリアリティ

## 協和キリンのサステナビリティについて

協和キリンにとってのサステナビリティとは、社会のステークホルダーとともに、“病気と向き合う人々に笑顔をもたらす Life-changing value ”という価値を共創していくことを意味しています。私たちは、ビジョン2030の実現を通して、協和キリンのサステナビリティと社会のサステナビリティを両立していきます。

協和キリンのサステナビリティを推進することは、我々の掲げるCSV経営とつながっています。  
すなわち

### 社会的価値

病気と向き合う人々に笑顔をもたらす Life-changing value を提供し、社会課題を解決すること

### 経済的価値

協和キリンがさらに Life-changing value を生み出していくために 人的・知的資本に投じる原資となりうる財務的な価値（利益）

という2つの価値創造を両立していくことです。

社会的価値を提供し、さらに次の社会的価値を創出するための経済的価値を得て、世界中の病気と向き合う人々に必要とされる企業であり続けること、これをサステナブルな事業活動と考えています。

また、私たちがサステナブルに事業活動を継続していくという観点から、未来世代を重要ステークホルダーととらえ、環境問題にも取り組んでいきます。



## ステークホルダーとの価値共創

ビジョンの実現のために、社会的価値と経済的価値の創造を両立していくことが必要と私たちは考えています。そのプロセスにおいてはバリューチェーンに関わるステークホルダーの皆さまとの協力・連携が不可欠です。私たちはさまざまなエンゲージメントを通じ、ステークホルダーの皆さまとの関係性を深め、価値を共創していきます。

2024年トピックス  
Pharmaceutical Supply Chain Initiative (PSCI) に加盟



# Life-changingな価値を目指して **マテリアリティ**

協和キリンは2030年のビジョン実現に向けたマテリアリティ（重要経営課題）を選定し、ビジョン・戦略との関連性を明確にいたしました。今後も2030年のビジョン達成に向けて、全社一丸となって取り組みを推進してまいります。

## 価値創造トピック

戦略の幹

マテリアリティ

関連するSDGs

アンメット  
メディカルニーズを  
満たす医薬品の  
提供

- 革新的な医薬品の創出
- 製品の価値最大化
- パイプラインの充実



患者さんを  
中心においた  
医療ニーズへの  
対応

- 医薬へのアクセス向上
- 医薬品にとどまらない医療  
ニーズへの新たな取り組み

Life-changingな  
価値を実現する  
人材・基盤の強化

- 人材ポートフォリオ
- 企業文化
- デジタルトランスフォーメーション

## 価値向上トピック

戦略の幹

マテリアリティ

関連するSDGs

社会からの  
信頼獲得

- 製品の品質保証と安定供給
- 地球環境への負荷の低減



Life-changingな  
価値を実現する  
人材・基盤の強化

- コーポレートガバナンス
- 事業活動における倫理と透明性
- リスクマネジメントの強化

# 「サステナブル調達」の推進

～調達機能における取り組み～

協和キリン株式会社

 **Kyowa KIRIN**

## 「サステナブル調達」の推進



協和キリン × サプライヤー

協和キリングroupでは、  
サプライチェーン全体で  
持続可能な社会と経済の実現に向けた  
「サステナブル調達」に取り組んでいます。

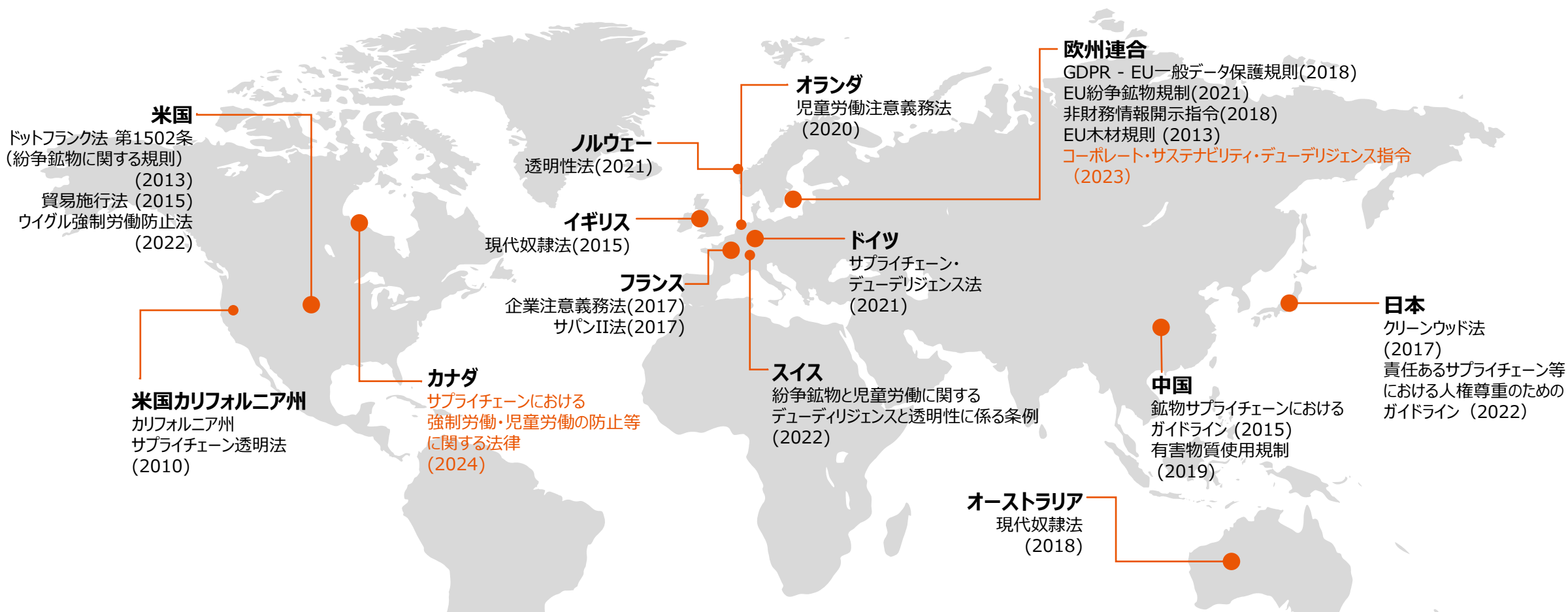
「サステナブル調達」の実現には、  
当社グループの努力だけでは成し遂げず、  
サプライヤーの皆様のご協力が不可欠です。



「サステナブル調達」の実現に向けて

# 「協和キリングループサプライヤー行動指針」の改正

# 世界中のサプライチェーンに関連する規制変更（2010年以降）

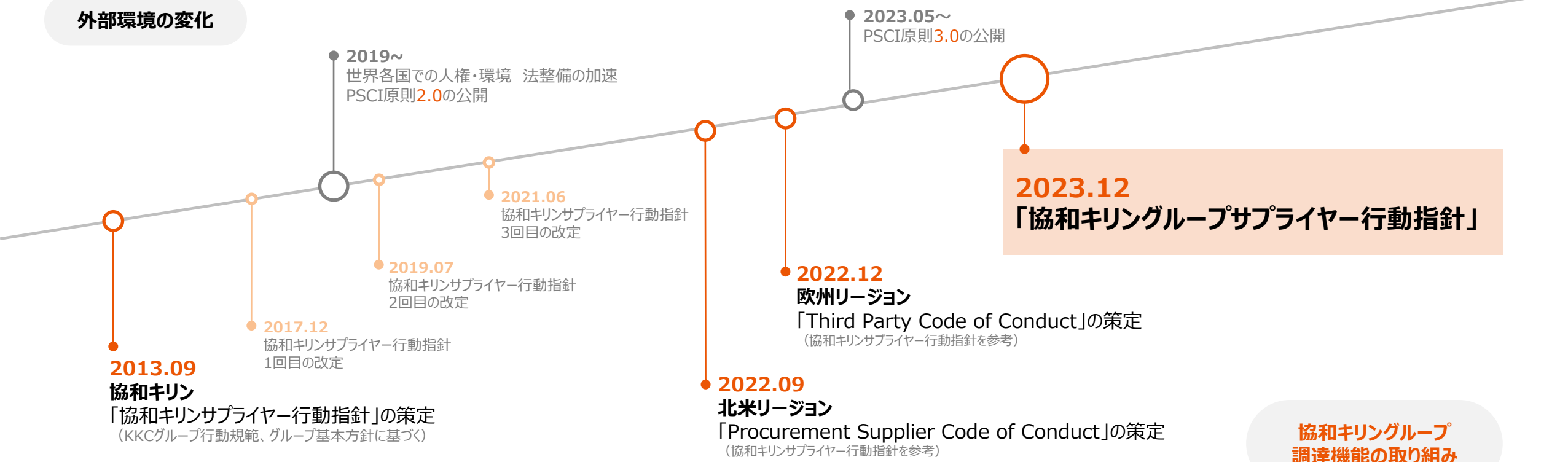


近年世界各国では**人権・環境**を中心に、サプライチェーンに関する法律が次々と制定されている。

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の進化

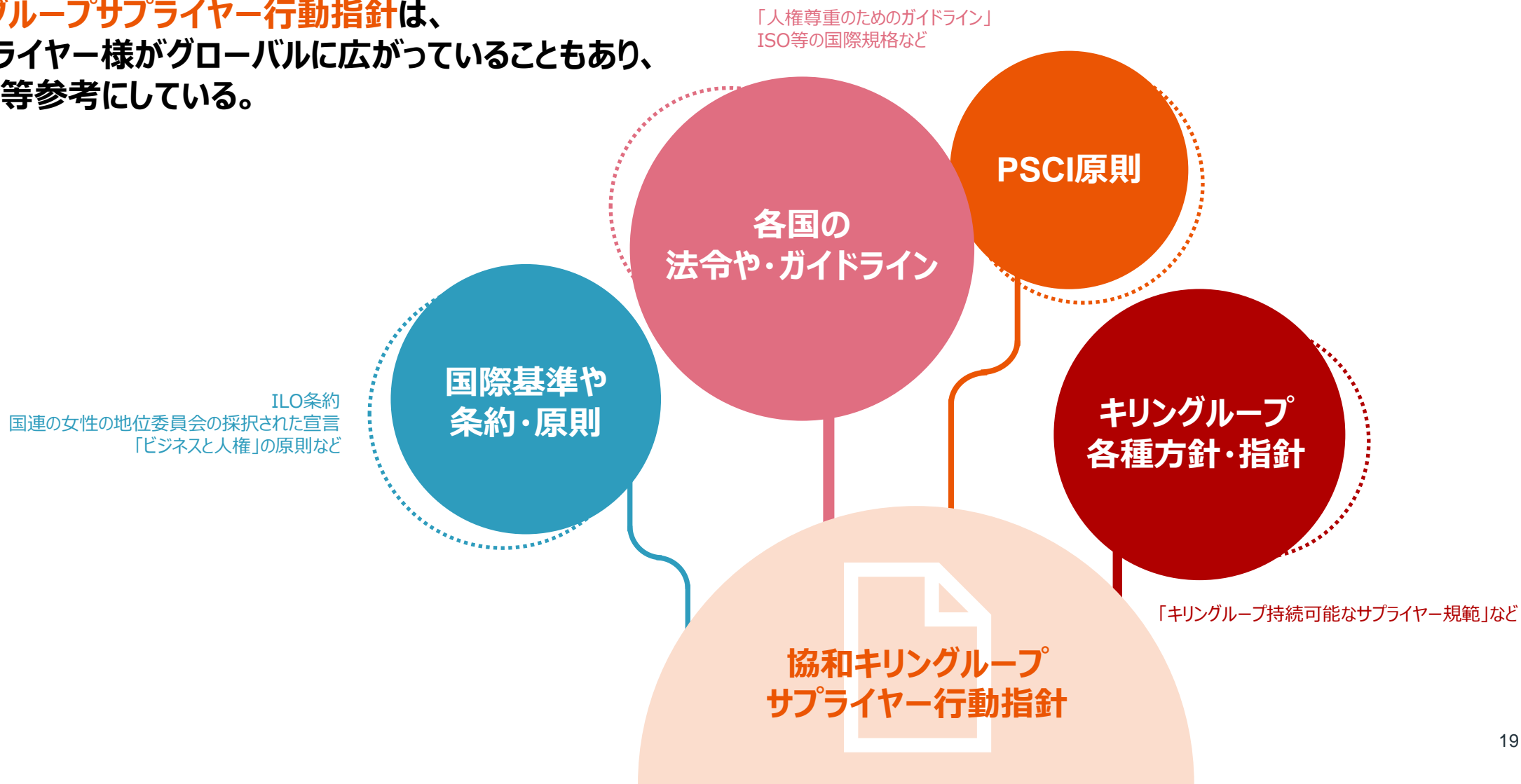
- 昨今の世界動向、社内外の環境変化を受け、従来のサプライヤー行動指針のアップデートしました。
- 「サステナブル調達」の推進をする上で、弊社とサプライヤーの皆様が取り組みべき具体的な事項を同指針に反映しております。
- 2023年12月に、新しい「**協和キリングroupサプライヤー行動指針**」を協和キリンのホームページに公開しました。

## 外部環境の変化



# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

協和キリングroupサプライヤー行動指針は、  
弊社のサプライヤー様がグローバルに広がっていることもあり、  
以下の法令等参考になっている。



# PSCIとは

## Understanding the PSCI

The PSCI is a membership group of companies in the pharmaceutical and healthcare sector that commit to working together towards a common vision of excellence in our supply chains.

### Principles

The foundational commitment of all members is to the **PSCI Principles**. They are our blueprint for responsible practice, setting out our expectations for five relevant topic areas. Members integrate them into their own supplier codes and uphold them in their operations, aiming for continual improvement by advancing supplier performance over time.

You can read more about them on the next page.

### Membership

The PSCI continues to enjoy growth in its **membership** and is currently led and driven by representatives from 53 member companies (find out more on [page 28](#)).

### Strategy

The Board has set a clear three-year **Strategy** and a program of work to support it (find out more on [page 8](#)).



### Vision

The PSCI's vision is for excellence in safety, environmental, and social outcomes across the whole of the global pharmaceutical and healthcare supply chain.

### Board

The PSCI is a non-profit organization incorporated in the USA. We are led by an elected **PSCI Board** made up of representatives from our member companies (find out more on [page 9](#)).

The Board would like to record its thanks to all the members of the Committees and Topic Teams and those who lead them.

### Committees

Our program is driven by five working **Committees** made up of members. The Committees drive our program of audit standardization and sharing and our supplier capability building work (among other things). The work of our Committees is described on [pages 12 to 21](#).

### Topic Teams

The Committees are supported by expert **Topic Teams** covering content varying from Environmental Protection to Process Safety. You can learn more about their work through our short video [here](#).

**PSCI（製薬業界サプライチェーンイニシアティブ）は、2006年に設立メンバー6社によるプロジェクトとして発足し、2013年に米国で設立された非営利会員制組織です。会員会社は、製薬・ヘルスケアに関連する企業が中心となっております。**

**2024年11月現在、PSCIは世界中に84の会員会社があります。**

**協和キリングroupも、2024年6月にPSCIに加入し、アソシエイトメンバーの一員になりました。**








**84** MEMBERS  
WORLDWIDE

**39** FULL  
MEMBERS

**45** ASSOCIATE  
MEMBERS

# PSCI原則 (PSCI Principles) とは

PSCIは、責任あるサプライチェーンの確立のため、PSCI原則を作成しています。  
 PSCI原則は、ガバナンスとマネジメントシステム、倫理、人権、健康と安全、環境の5つのテーマを中心に、製薬企業のあるべきサプライチェーン管理の基準を示しています。

 <p><b>ガバナンス&amp;マネジメントシステム</b></p>	 <p><b>倫理</b></p>	 <p><b>人権</b></p>	 <p><b>健康&amp;安全</b></p>	 <p><b>環境</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化、コミットメント、説明責任</li> <li>■ 法律と顧客要求</li> <li>■ リスクマネジメント</li> <li>■ トレーサビリティと管理</li> <li>■ 研修およびコンピテンシー</li> <li>■ 文書化</li> <li>■ 継続的改善</li> <li>■ 緊急事態への準備及び対応</li> <li>■ グリーバンスメカニズム</li> <li>■ 対応及び是正</li> <li>■ 効果的なコミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者の安全と情報へのアクセス</li> <li>■ 贈収賄および汚職の防止</li> <li>■ 公正な競争</li> <li>■ 動物福祉</li> <li>■ データプライバシーとセキュリティ</li> <li>■ 利益相反の回避および管理</li> <li>■ 製品の保護および品質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 雇用の自主性</li> <li>■ 児童労働と若年労働者</li> <li>■ 差別の禁止</li> <li>■ 公正な処遇</li> <li>■ 賃金、福利厚生、労働時間</li> <li>■ 組合結成の自由と団体交渉の権利</li> <li>■ 地域社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 作業環境の安全</li> <li>■ 労働者の保護、保健及び福祉</li> <li>■ プロセス安全性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境に関する承認と報告書</li> <li>■ 廃棄物と排出物の管理</li> <li>■ 気候変動</li> <li>■ 資源効率</li> <li>■ 生物多様性の保全</li> <li>■ 流出・放出防止</li> </ul>

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

協和キリングroupサプライヤー行動指針は、以下の**7つの項目**で構成されています。  
**1～5の項目は**、前述の各種法令・基準を参考し、内容を進化させました。

改正対象

- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 社会との関係    | 社会のよき一員として、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図ります。その実現のために、すべてのステークホルダーと良好な関係を築きます。 |
| 2 | 従業員との関係   | 各自の人間性を尊重し、働きやすい職場環境の維持に努めます。  |
| 3 | ルールの遵守    | 社会のルールを守り、誠実に高い倫理観を持って行動します。   |
| 4 | 人権尊重      | 社内外すべてのステークホルダーの人権、人格を尊重します。   |
| 5 | 環境保全      | 環境問題の取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件であるという認識の下、主体的に行動します。             |
| 6 | 情報管理      | 私たちの事業に関する情報を適正に管理します。   |
| 7 | リスクマネジメント | 私たちの事業にかかるリスクおよびクライシスを適切に管理します。                                      |



## 協和キリングroupサプライヤー行動指針に関する社内研修

協和キリングroupサプライヤー行動指針は、サプライヤーの皆様に努力していただきたい内容であり、**協和キリン自身がまず守らないといけない事項**でもあります。

従業員の理解度を向上するために、社内で同指針に関する研修を複数回に分けて実施しました。



2024.01  
全社員対象  
e-learning

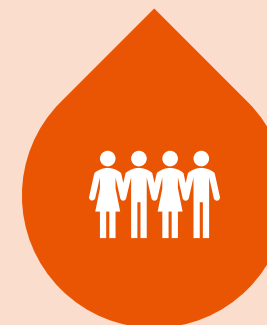
2024.03  
改定の背景・内容  
調達担当者としての心構え



2024.04  
環境関連  
講師：CSR推進部環境安全グループマネジャー



2024.06  
人権関連



日々調達業務を実施する調達担当者には、指針の内容を確実に理解する必要があり、**全社共通のe-learningとは別に、対面&オンラインのハイブリッド式の研修を実施しました。**

協和キリングroupサプライヤー行動指針に関する社外研修以外にも、下請法に関する研修等を継続的に実施しています。

# サステナブル調達アンケート

協和キリンでは、毎年、「協和キリングroupサプライヤー行動指針」の各項目に沿ったサステナブル調達アンケートを実施し、サプライチェーンにおけるサステナブル調達活動の現状把握と、課題抽出に取り組んでおります。

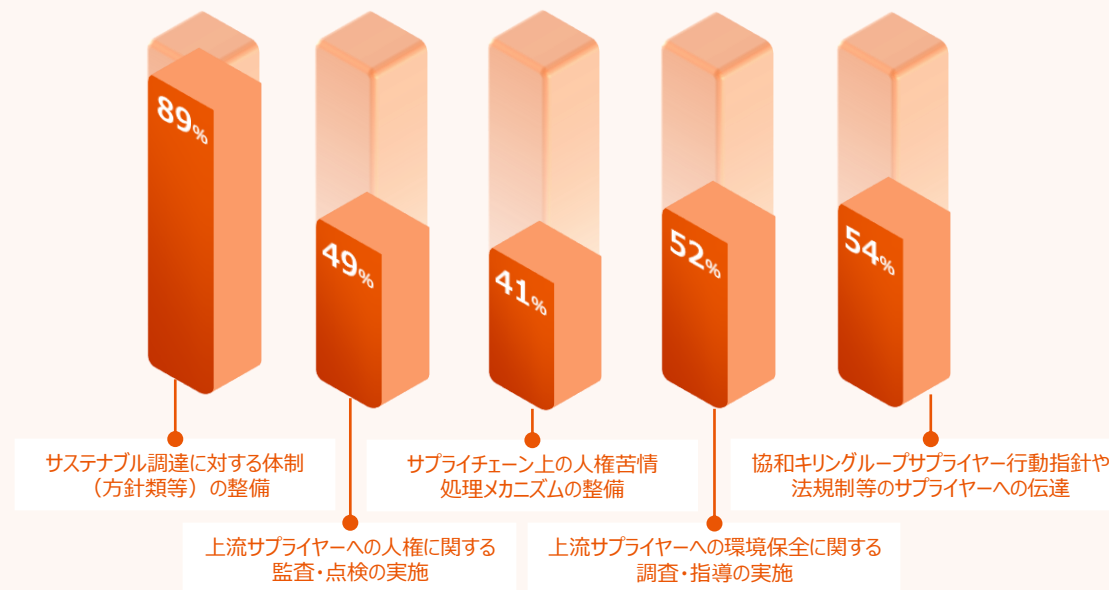
## 2023年サステナブル調達アンケート

### アンケートの概要

- 【設問数】 選択式61問、自由記述3問
- 【設問内容】 法令・国際基準・国際規則に準拠した「協和キリングroupサプライヤー行動指針」に基づく
- 【取得期間】 2023年12月21日～2024年2月21日
- 【依頼先】 国内外サプライヤーのうち、弊社基準により選定
- 【回答社数】 402社（全調達金額に対する割合：89.5%）

2023年サステナブル調達アンケートでは、改定した「協和キリングroupサプライヤー行動指針」に基づき、設問の内容を見直しております。

### 2023年サステナブル活動状況



# 協和キリングroupサプライヤー行動指針に関するお願い

## — サプライヤーの皆様へのお願い —



協和キリングroupサプライヤー行動指針は、  
**サプライチェーン全体**で理解し指針に沿った実行をすることが  
サステナブル調達の実現のために重要です。

本指針を受けたサプライヤーの皆様は、サプライヤー社内はもとより、  
**2次サプライヤーの皆様へも**本指針を伝えていき  
適切な資源配分と仕組みを整えていってください。

本指針に関連した懸念事項は、適切に調査をして解決してください。  
加えて、マネジメントシステムによりそれぞれの取り組みを管理して、  
**サプライチェーン全体**での持続可能な社会の実現に向けて、  
ご協力をお願いします。

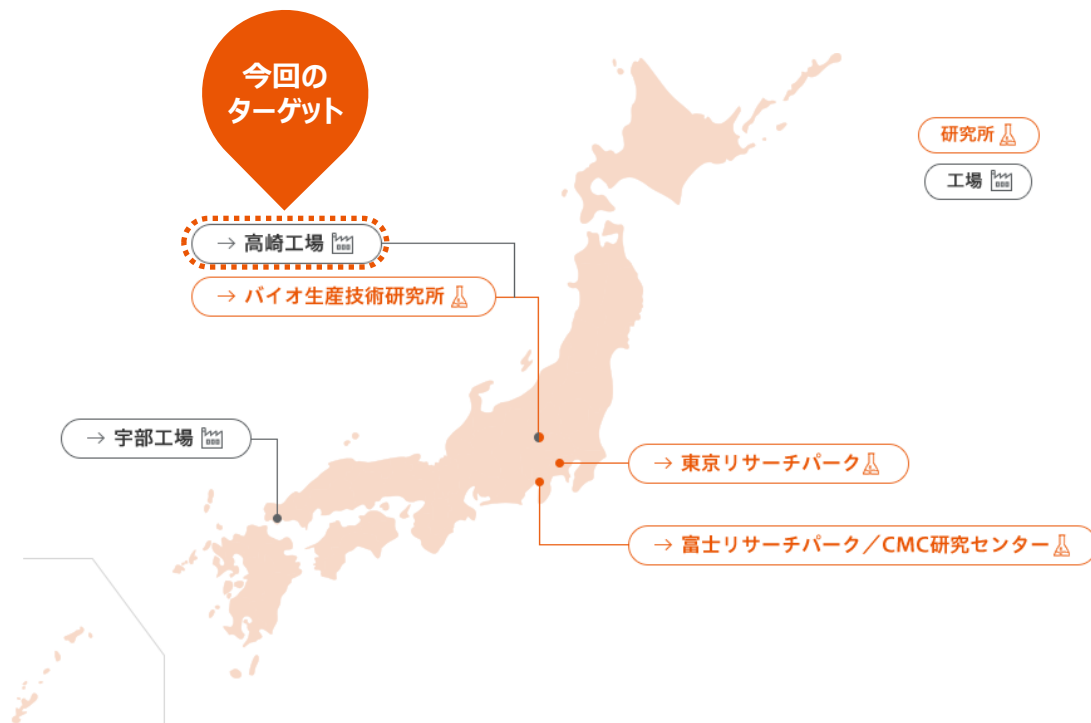


「サステナブル調達」の実現に向けて

# サプライチェーンの人権に関する取り組み

# 人権デュー・デリジェンス

協和キリンでは、右記の活動を通じて、当社にとって重要な人権課題を特定しました。



① 独立した外部機関を活用した人権デュー・デリジェンスワークショップ



② デスクトップ調査による評価



2023年に、ワークショップで特定された人権テーマの一つ目である「グループ会社やサプライチェーンを含む日本国内の技能実習生」について、人権デュー・デリジェンスを実施しました。

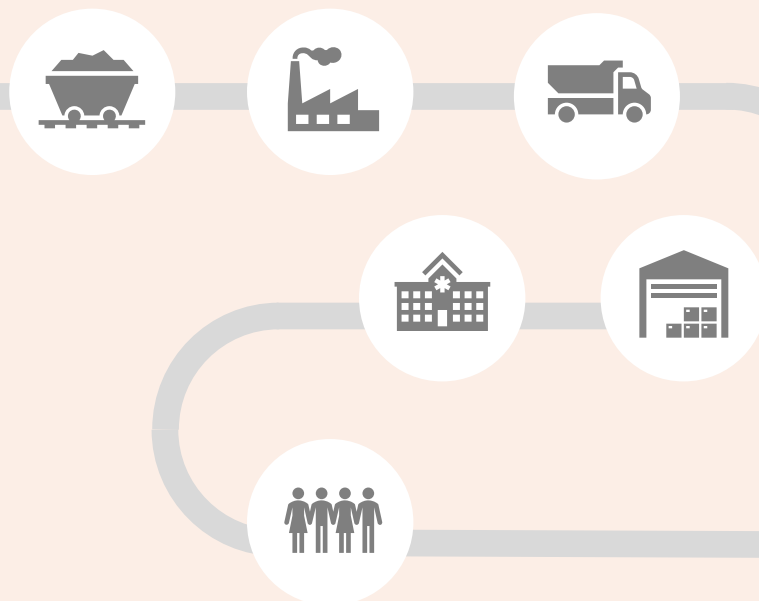
日本国内の拠点の中で、事業活動のインパクトが大きい製造拠点である高崎事業場のサプライヤーをターゲットにしました。外国人技能実習生を雇用しているサプライヤーの管理者と実際に働いている技能実習生にインタビューを実施し、人権への負の影響がないことを確認しました。

人権侵害について、現時点において特段懸念すべき事項がなかった。

## JaCERへの加入

協和キリングroupは、一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構（JaCER※）に加入しました。

JaCERが提供する、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した「対話救済プラットフォーム」にて、**人権に関わる苦情・通報**を受け付けています。



JaCERは、通常の社内通報窓口とは異なり、**サプライチェーン上のあらゆるステークホルダー**を対象としています。

また、**第三者を介して苦情を受付ける**ことで、苦情処理の公平性・透明性を図り、適切に苦情・通報に対応していくことで、人権における**本質的な課題解決**に取り組めます。

皆様も、必要に応じてJaCERをご利用ください

「サステナブル調達」の実現に向けて

# BCPに関する取り組み



# BCPに関する取り組み

昨今は自然災害や感染症、テロなどが多発しています。  
危機的な状況の中でもくすりを安定的に患者さんに届けるよう、  
協和キリン調達部では積極的にBCP※に関する取り組みを実施しています。

## 部内BCP訓練について

- ◆ 目的：BCP行動計画書に基づく活動の内容を知っておくこと。
- ◆ 対象：経営職、BCP 担当者
- ◆ 訓練実施日時：3月11日（月） 14:00～15:30
- ◆ 実施方法：本社会議室 + 各事業場リモート
- ◆ 訓練シナリオ：首都直下型の地震が、土曜日深夜に発生したシナリオ。

行動計画書に基づき、  
災害対応メンバーとサプライヤー被害確認班に分け、  
それぞれに業務に携わることができない被災者が発生した中で、  
どのような活動ができるかを検証。

今後は、大地震以外のシナリオを想定したBCP訓練も検討する予定。



最後に

協和キリン × サプライヤー

「サステナブル調達」の実現には、  
当社グループの努力だけでは成し遂げず、  
サプライチェーン全体の力が必要です。

本日お集りいただきました皆様、  
そして皆様のサプライヤー様に向け、  
主旨をご理解いただきご協力賜りますよう  
よろしくお願いいたします。



# Appendix

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

1

## 社会との関係

社会のよき一員として、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図ります。  
その実現のために、すべてのステークホルダーと良好な関係を築きます。

### — 主な変更点 —

新設

「適切なマネジメントシステムを活用して患者さん、  
医療従事者を含むステークホルダーの権利に悪影響を及ぼすリスクを最小にします。」

新設

法令遵守するための適切な仕組みの構築

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

2

従業員との関係

各自の人間性を尊重し、働きやすい職場環境の維持に努めます。

## — 主な変更点 —

追記

従業員に多様性の尊重に「権利」を加えた

新設

「従業員の権利を守り、  
尊厳と敬意を持って従業員を処遇する。」

新設

「労働者が報復を恐れることなく、  
団体交渉することを認めています。」

新設

「従業員には国際基準や国内法に基づく  
就業・休憩・休暇・休日を取得する権利を保証します。  
賃金は、従業員と合意した雇用契約により、  
超過勤務分を含めて支払います。」

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

3

## ルールの遵守

社会のルールを守り、誠実に高い倫理観を持って行動します。

### — 主な変更点 —

追記

法令遵守に加え、顧客の要求を加えた。

新設

「公正で自由な競争に、正確かつ真実の広告を含め、公正な事業慣行を採用します。」

新設

「会社の利益と相反する立場での就労および取引をしません。」

追記

「不正行為を予防するための活動を行い、また早期に発見し対応するための制度を整えます。とるべき行動が分からない、何かおかしいと感じるとき、疑問を提起する通報体制を整備します。提起した者、提起を受けた者などの関係者への報復行為、脅迫行為および不利益な取り扱いをしません。」

新設

「非臨床試験における動物実験は、動物福祉に十分配慮する。」

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

4

人権尊重

社内外すべてのステークホルダーの人権、人格を尊重します。

## — 主な変更点 —

変更

対象を、「社内外すべてのステークホルダーの人権、人格」とした

追記

差別の対象を「年齢、妊娠の有無、婚姻関係」のほかに、近年、さまざまな差別のことばもあるため、「あらゆる」を加えた。

新設

**救済窓口の設置**  
(サプライチェーン従業員のための人権侵害に関する救済の権利の構築)

新設

サプライチェーン上の人権課題の把握・改善  
(人権デューデリジェンスの実行)

追加

女性や脆弱性の高い人たちの権利の尊重

追加

奴隷労働、若年者労働を禁止対象に加えた



# 協和キリングroupサプライヤー行動指針の改正

5

## 環境保全

環境問題の取り組みは人類共通の課題であり、  
企業の活動と存続に必須の要件であるという認識の下、主体的に行動します。

### — 主な変更点 —

新設

「環境に悪影響する物質の排出・流出を防止する仕組みを構築します。」

新設

「人の健康・環境への悪影響を及ぼすおそれのある排出物は、  
放出前に適切に管理及び処理します。」

追加

「適用されるすべての環境法規・環境規制と排出基準を遵守」

追加

温室効果ガス排出量

追加

水の使用量の削減と、  
循環型社会の実現

追加

生物多様性への影響を理解

## 健康経営の取り組み

協和キリングroupでは、  
「従業員とその周囲の方の心身の健康リスク低減による豊かな人生の実現」  
を第一の目的に健康経営に取り組んでおり、  
取り組みを通じて事業課題の解決や社会へ好影響を及ぼすことを目指しています。

サステナブル調達アンケートを通じて、  
サプライヤーの労働安全衛生状況を把握する

一人ではなかなか続きにくい習慣改善に、  
会社の仲間とワクワクしながら取り組む

- 年間の平均休暇取得日数16日以上
- 喫煙率5%以下の維持
- 運動習慣向上を目的とした社内イベント  
「ウォーキングキャンペーン参加率80%」
- 健康に直結する食事習慣への気づき  
「食活イベントへの参加率80%」

# 豊かな地球環境を未来世代に ～環境保全に関する取り組み～

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

豊かな地球環境を未来世代に

# ビジネスパートナーとの協力・連携によるサプライチェーンの強化

当社の  
考え方

協和キリンは、価値創造のすべてのプロセスにおいてビジネスパートナーと協力・連携し、Life-changing valueを継続的に創出・提供します。



## 2030年に向けたビジョン

協和キリンは、イノベーションへの情熱と多様な個性が輝くチームの力で、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして病気と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値の継続的な創出を実現します。

### UMNを満たす 医薬品の提供

抗体技術の進化へ挑戦を続けることに加え、多様なモダリティを駆使し協和キリンの強みを生かした創薬により、有効な治療法のない病気の治療に取り組んでいきます。

### 患者さんを中心においた 医療ニーズへの対応

医薬品事業で培った疾患に関する知見と最先端の科学・技術の応用に努め、医薬品にとどまらない社会の医療ニーズに応えていきます。

### 社会からの 信頼獲得

常に信頼され、成長が期待される企業であり続けるため、世界トップクラスの製品品質とオペレーショナルエクセレンスを追求し続けます。

環境対応での皆様との協力・連携

豊かな地球環境を未来世代に

## 環境マネジメントの方針と課題 ～地球環境への負荷の低減～

- 「協和キリングroup環境基本方針」に基づき、事業活動を展開
- 脱炭素社会の実現を目指し、次世代に引き継ぐ地球環境の保護を推進
- 「キリングroup環境ビジョン2050」に整合し、キリンホールディングスと連携

### 環境活動の全体像

#### 気候変動の緩和と適応

- CO<sub>2</sub>排出量削減
- 気候変動リスク評価と対応
- 情報開示



#### 水資源管理

環境事故・法令違反防止

#### 生物多様性



その他



廃棄物  
ガバナンス

「社会的価値の提供」と「経済持続性」を両立し、企業価値を向上

「気候変動の緩和と適応」「水資源管理」を環境に関する中核的な課題と認識

豊かな地球環境を未来世代に

# 気候変動：CO<sub>2</sub>排出量（Scope1,2）削減に向けた取り組みと実績

- 事業特性に合わせた気候変動への対応策
- CO<sub>2</sub>排出量削減：  
省エネ × 再生可能エネルギー（再エネ）の拡大 × エネルギー転換

## 2030年目標

CO<sub>2</sub>排出量 ▲55%（2019年比）

取り組み 2030年まで

設備投資を含む省エネと再エネ拡大を中心にCO<sub>2</sub>削減を推進

## 2040年目標

使用電力の再エネ100%化（RE100達成）

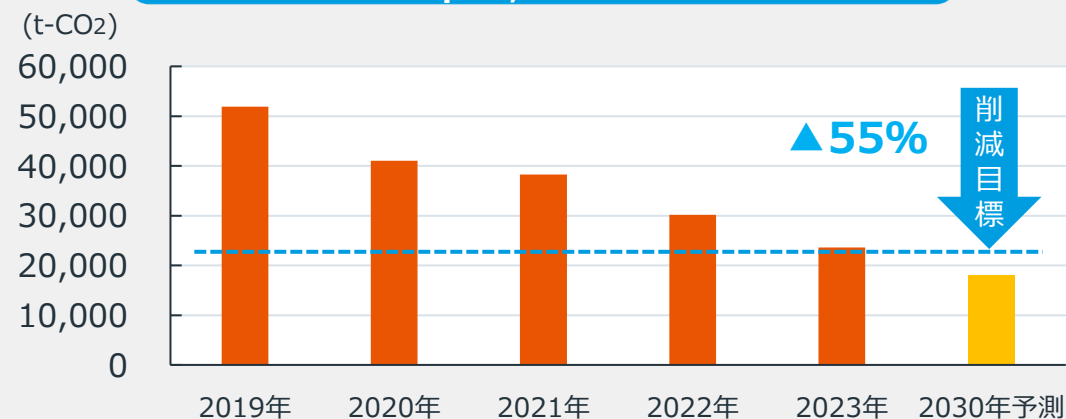
## 2050年目標

バリューチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量ネットゼロ

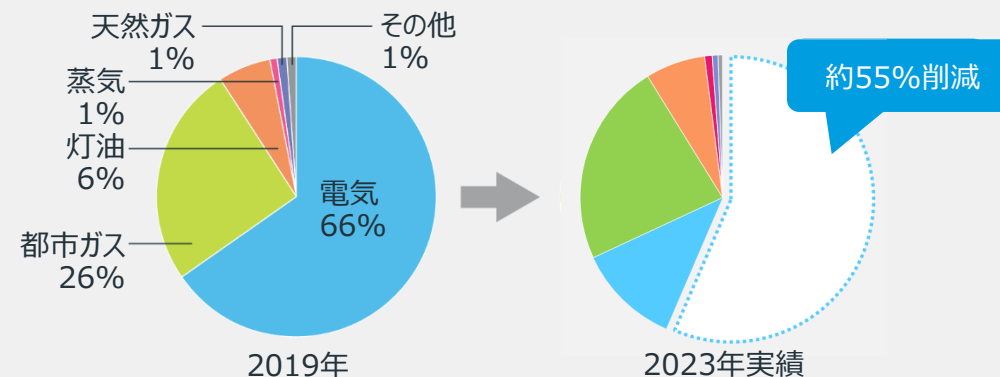
取り組み 2030年～2050年

省エネ・再エネ拡大に加えエネルギー転換を推進

## CO<sub>2</sub>排出量（Scope1,2）削減目標に向けた推移



## エネルギー種ごとのCO<sub>2</sub>排出量割合と再生可能エネルギー導入によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果（国内外の全生産・研究事業場）



# CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1,2) 削減に向けた取り組み実施例

## 宇部工場

- PPAモデル大規模太陽光発電設備稼働：2023年3月～
- 新事務所棟「ZEB認証」取得（協和キリングroup/キリングroup初）

### 宇部工場



PPAモデル大規模太陽光発電設備



新事務所棟（SF棟）

## 高崎工場

- Q-TOWER竣工：2022年12月
  - 国内最先端のバイオ医薬品分析設備、自動化・省力化設備の導入
  - PCaPC工法採用による環境負荷の低減

### 高崎工場

#### Q-TOWER



外観



実験室



オフィスエリア

宇部工場、高崎工場、富士事業場、  
東京リサーチパーク、本社

全購入電力CO<sub>2</sub>ゼロ達成（RE100適合）：2024年



# CO<sub>2</sub>排出量 (Scope3) 削減に向けた取り組み

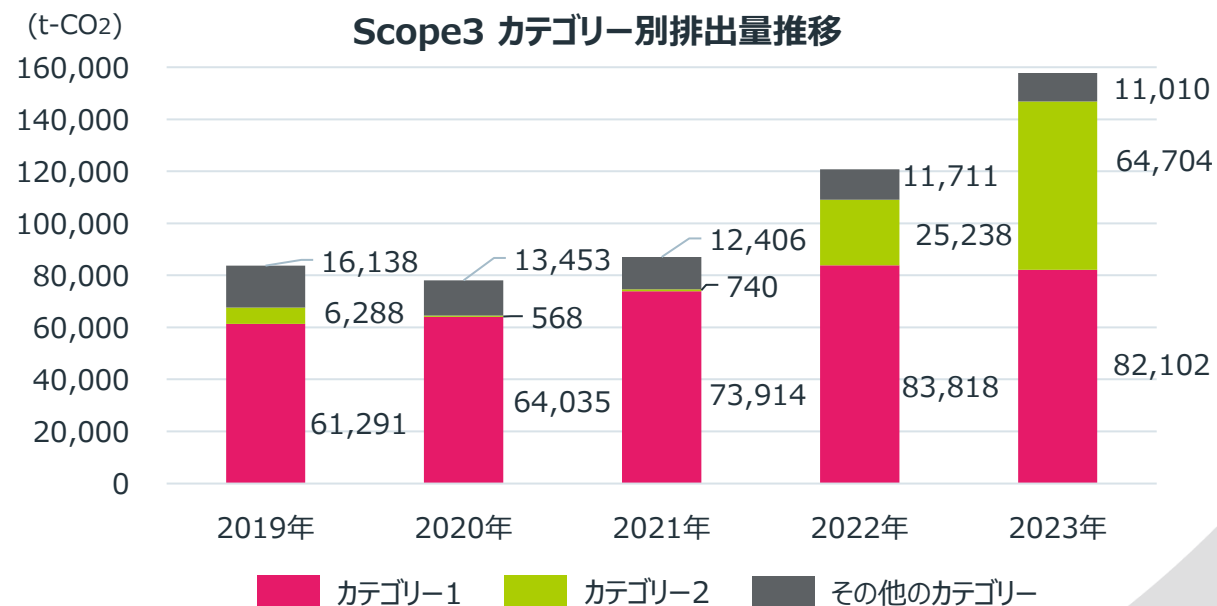
私たち協和キリンは、Life-changingな価値を継続的に創出し、病気と向き合う人々に笑顔をもたらすことをビジョンに掲げています。

ビジョン実現に向けたマテリアリティのひとつとして『地球環境への負荷の低減』を掲げ、環境に対するコミットメントのもと、広くステークホルダーと協働して脱炭素社会の実現を目指し、積極的に取り組んでいます。

- 削減施策の初期仮説・ロードマップ (初期案) を策定

## 今後の対応

- 中長期目標策定
- サプライチェーン全体での排出量の把握、施策の展開
  - サプライヤーの皆様への説明会、取り組みへの協力依頼
  - 削減施策の展開





**KYOWA KIRIN**

たった一度の、いのちと歩く。